

朝日放送「家族レックスン」  
ジョンソングレード消臭センサー&スプレー

シトラス

登場人物  
夫(65)  
妻(60)  
子犬(1)

○一軒家の居間

夫（65）は黙ってテレビを見ている。  
妻（60）はその裏で電話中。

妻 「ああそう。色は？ ゴールデン。ええやないの。明日取りに行かせて。そうやねん。息子も結婚したし、しゃべらん旦那やさかい話し相手欲しいわ」

○次の日

夫はテレビをみている。

妻が子犬を抱え帰宅。

妻 「犬、もろてきた西さんのところから。

な、ほら、シトラスちゃん挨拶し」

夫 「あかん」

妻 「…なんでやの。いちいちあなたに許可とらなあかんの。大体」

夫 「くさなる」

妻 「…」

○次の日

子犬を膝の上に乗せて黙ってテレビを見ている夫。

スーパーから帰宅する妻。消臭剤を箱から出し、床にセットする。

夫 「なんやそれ」

妻 「消臭剤。あなたがくさなる言うから」

夫 「あほか！ 生き物に消臭剤で、お前自分の息子にも消臭剤ぶちまけて育てるんか。かわいそうやないか」

妻 「そもそもあなたが言うたんやない！ あんたがずっと黙ってるからあなたの考えてる事がなんもわからへん。40年黙ったままやから、40年なんもわからへん！」  
その形相に、子犬おびえて吠えだす。

妻 「なんでなんも言わへんの！ なんなん一体！」

子犬が消臭剤の前をとことこ通り、プ

シュッとシトラスの香りが広がる。

夫 「あれっ」

妻 「…何よ」

夫 「この匂い、知ってる」

妻 「は？」

夫 「新婚旅行の旅館のトイレの香りや！」

妻 「…今そんなしょうもないこと言うてる場合ちゃう！ もっと大事なことを」

夫 「しょうもないことちゃうわ！ わしの、大事にしてる思い出や」

妻 「…」

夫 「…」

妻 「今年で、一番しやべったんちゃうか」

夫 「大事な事は、しやべるわ」

妻 「犬、飼うの飼わへんの」

夫 「好きにせえや。(消臭剤を見て) おまえの化粧のニオイも消すやろ」

妻 「(むかつくけど思わず笑う) それが大事なことや、大体40年前な…」

夫婦の会話はつづく。子犬は膝に戻る。  
(了)